

2010年12月1日

2010年度55回関西写真記者協会テレビ・新聞・通信報道展

ABCがテレビ・ニュース映画の部協会賞に

テレビ・新聞・通信の報道カメラマンがとらえた、今年一年の優れたVTR・写真などに贈られる2010年度第55回関西写真記者協会テレビ・新聞・通信報道展において、ABCはテレビ・ニュース映画の部、出品作品中最高の賞である、協会賞を受賞しました。

■テレビ・ニュース映画の部 協会賞

テレビ・ニュース映画の部では、報道局映像編集部の喜多貴嗣カメラマンが撮影した「自宅で最期を…」～願いを叶える医師～が、全31作品の中から最も優秀な作品に贈られる協会賞に選ばれました。

この作品は、独り暮らしのお年寄りが急増する中、大阪にある治療困難な独居患者を往診している医師のチームを密着取材。病院よりも自宅で死にたいという患者の望みを叶えるべく最期の日までケアをする日々を追いかけてきました。子供が親と同居して看取ることが難しくなりつつある今、彼らの活動の社会的意義を表現しました。

「医師の仕事は、究極のところしっかり死を見つめること」と考える中村俊紀医師らの活動や患者の「最後の生きざま」を追いかけた作品が高く評価されました。

この企画は朝日放送がドキュメンタリーとして、去年から今年にかけて取材を行い、2回のドキュメンタリー番組を放送後、「報道ステーション」の中でも特集として放送したものです。現在も継続取材中です。

この作品は以下の報道展でご覧頂けます。

京都展：イオンモールKYOTO「Kotoホール」12月9日～14日

神戸展：さんちかホール 16日～21日

大阪展：阪神百貨店8階催場 26日～31日

関西写真記者協会とは、1955（昭和30）年に設立され、関西を中心に取材部門を有する日本新聞協会加盟の新聞、通信、放送およびニュース映画の各社で組織し、加盟77社、各社の専属カメラマン等、約1100名を会員としています。